

資料9

低炭素モビリティWG 協議会資料(活動方針)

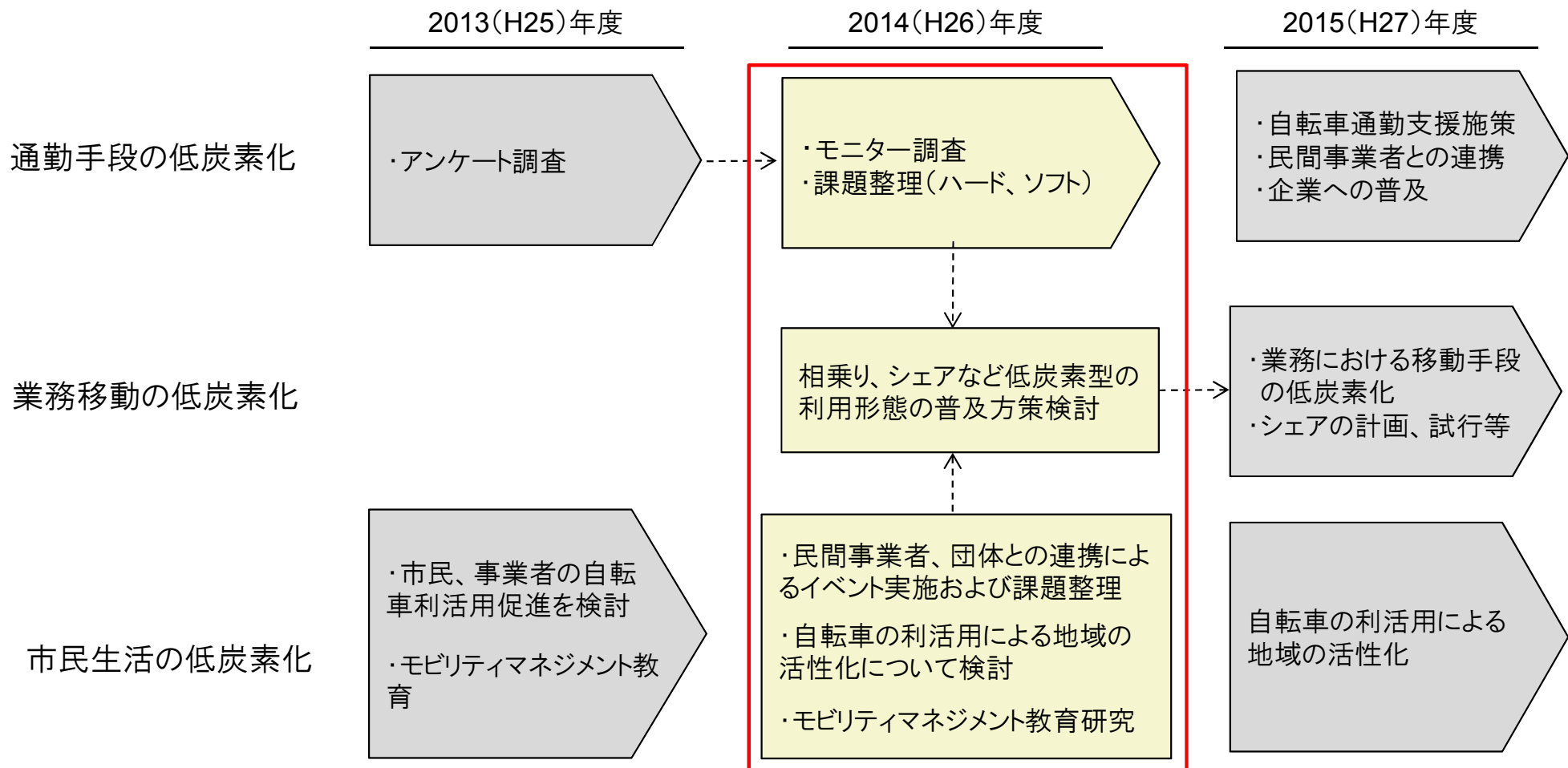
第11回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市環境部 大会議室

平成26年3月20日(木)

1. 来年度活動方針

- 本年度実施のアンケートを分析し、秋田市職員の自転車通勤促進のための課題を仮説的に整理
- モニター調査を実施し、自転車通勤における課題を検証
- 民間事業者との連携による市民、事業者の自転車利用の促進



2. 課題整理、検討

アンケート調査結果の分析やモニター調査の実施、民間団体との連携により自転車利活用の課題を整理し、他事例を参考にしながら方策を検討する。

【企業】

- シマノ、デンソー、三洋電気 等
 - ・ エコポイント制度、雨天時の自動車通勤の許可、マイカー通勤と同程度の補助 等の支援策

【自治体】

- 名古屋市 市役所職員に対する自転車通勤手当の優遇策(下表)

【関連事業】

- オフィス街にサイクルステーション整備 (HIBIYA RIDE 東京千代田区、DATE BIKE(仙台市))
- 駅前などの小規模駐車を駐輪場に転用する企業に最大400万円を助成する制度創設 (京都市)

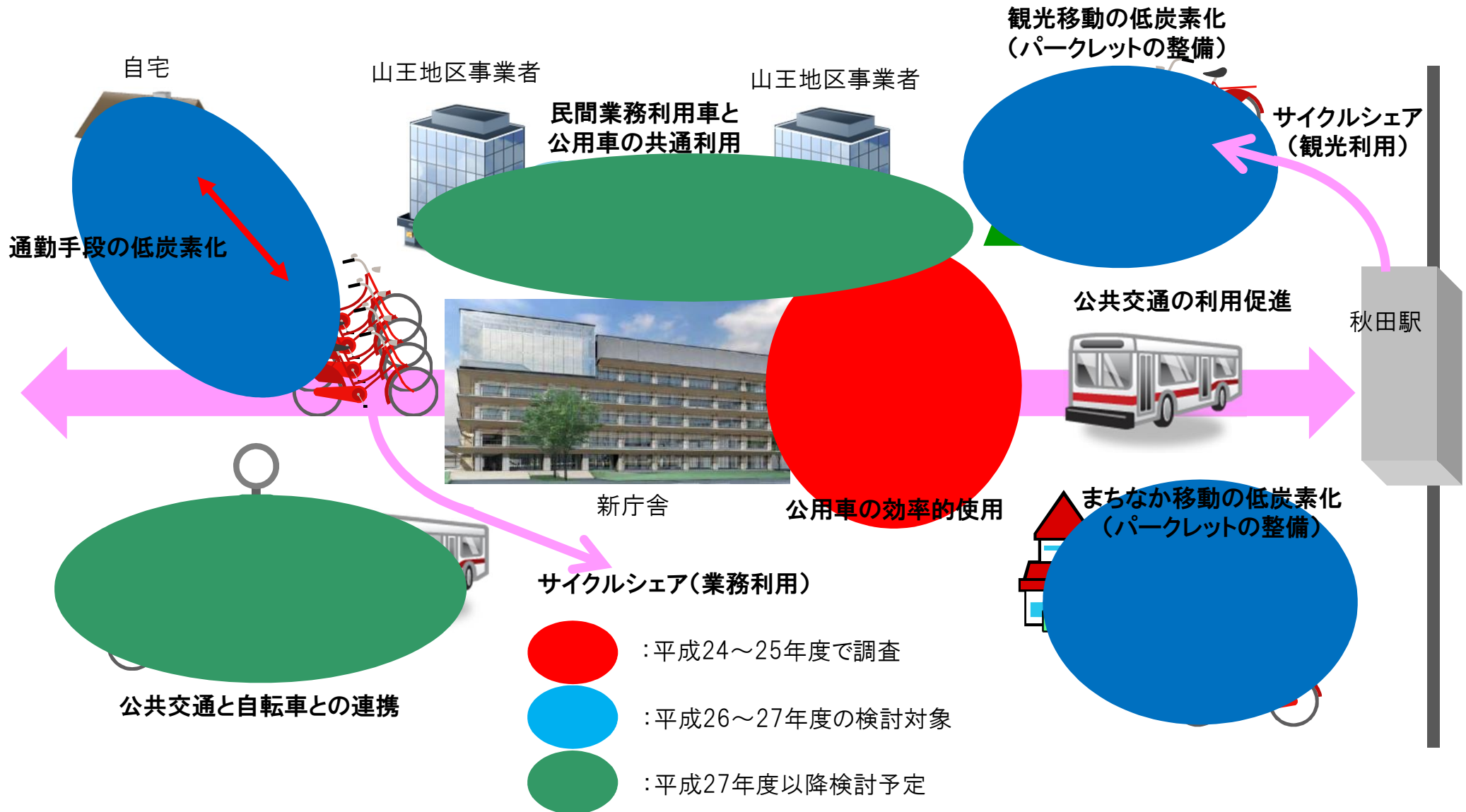
名古屋市の職員向け自転車通勤手当

通勤距離	改正前の手当	改正後の「自転車」利用の手当	改正後の「自動車」利用の手当
5キロメートル未満	2,000円	4,000円	1,000円
5～10キロメートル未満	4,100円	8,200円	4,100円
10～15キロメートル未満	6,500円	8,200円	6,500円

HIBIYA RIDE 内装



3. 低炭素モビリティ実現の姿



参考. 一般的に言われる自転車利用の長所・短所

【長所】

- 交通費、維持費が安い。
- 渋滞の影響を受けず定時制が高い。
- 公共交通通勤に比べ時間の自由度が高い。
- 適度な運動であり健康によい。
- 環境影響負荷が低い。

【短所】

- 通勤手当が出ない場合があり、荒天時の公共交通、自家用車利用の場合は自己負担となる。
- 冬期、雨天時には利用しにくい。
- 駐輪場の確保が必要。
- 夏期は着替えが必要。
- 事故発生リスクが公共交通に比べ大きい。